

活動内容

〈題〉 学校・家庭・地域の連携と子どもの健全な育成の推進

学級名 渋民中学校家庭教育学級

学級担当者 松坂郁子

1 学級の組織ならびに学習のねらい及び重点

- 構成員 生徒、保護者、教職員
- 学級の運営組織 渋民中PTA教養部
- 学習のねらい・重点 教育についての会員の研修と協力により、学校・家庭・地域における教育を向上させること。

2 学習計画と活動の状況

回	日時	講話題	講師（職・氏名）	参加人数
1	6月 24日	情報モラル教育	岩手県警察本部サイバー犯罪対策課 飛澤 遼 氏	173人
		内容	感想など	
		・SNSに関わるトラブルの例と危険性 ・SNSに関わるトラブルに巻き込まれないために ・ネットいじめ	参加した生徒の感想より ・スマホは便利なので毎日使っているけれど、知らないうちに危険に巻き込まれる可能性があって、こわいと思った。何かあつたらすぐに大人に相談することが大切だと分かった。 ・大事なことは、ラインで伝えるのではなく、直接言葉で伝えたい。また、他人のことを書き込んだりしないよう気を付ける。	
2		日時	講話題	講師（職・氏名）
		内容	感想など	

3 成果及び今後の課題

(1) 成果・活動において工夫したこと など

- 生徒にとって便利なSNSには危険が伴うことを、生徒自身が自分事として考えることができた。
- 子どもにスマホを与えることは、大人にも責任が伴うと自覚することができた。

(2) 今後の課題

- 保護者の参加が少ないことが課題である。
保護者と子どもが一緒に参加し、一緒に考えることで、成果がさらに上がると考える。

(3) その他、今後の「学びのつどい」の在り方に関すること など

- SNSトラブルは増加しており、学校・家庭・地域から注意喚起を行う必要があると思われるため、来年度以降も引き続き行いたい。